「第４回若手職員を対象としたSDGs勉強会（先進地視察）」

# 活 動 報 告 書

【第４回若手職員を対象としたSDGs勉強会（先進地視察）】

日　時：令和６年９月30日（月）13時20分から10月１日（火）12時00分まで
場　所：上士幌町各施設

１　内　容

【１日目】
（１）自動運転バス乗車　@上士幌町交通ターミナル
（２）取組概要の説明　　@生涯学習センターわっか
（３）ナイタイ高原牧場・ナイタイテラス視察
（４）かみしほろシェアOFFICE視察
（５）起業家支援センターhareta視察
（６）かみしほろマルシェ視察

【２日目】
（７）バイオガスプラント視察　@（有）ドリームヒル
（８）生活体験住宅視察
（９）地域商社の取組説明　@道の駅かみしほろ

【第４回若手職員を対象としたSDGs勉強会（先進地視察）】

日　時：令和６年９月30日（月）13時20分から10月１日（火）12時00分
場　所：上士幌町各施設

２　出席者

**○日高振興局（15名）**
総　務　課（１名）：北村主事
地域政策課（７名）：上田係長、村岡主任、太田主事、藤原隊員、日下部主事、髙橋主事、澤田主事
社会福祉課（３名）：三上主事、澤田主事、笹木主事
商工労働観光課（１名）齋藤主事
農　務　課（１名）：川﨑主事
農村振興課（２名）：内山主事、近藤主事

**○役 場 職 員（３名）**
日　高　町（１名）：折尾主事
浦　河　町（２名）：長崎課長、髙澤係長

**計　18名**

## ３　本勉強会の主旨・経緯

人口減少や少子高齢化、地球温暖化に伴う環境変化など、社会情勢が著しく変化することに伴い、地域における課題も多様化・複雑化している。

地域課題の解決に向けた各所属の取組効果を更に高めていくためには、多様な主体との連携・協働や企業の投資行動を促す仕組みなど、持続可能な開発を目指す国際目標である「SDGs」の視点も重要となる。

こうしたことから、振興局や各町の若手職員を対象として、今後の政策検討に役立つと考える知識に触れるための勉強会をR6年度に計３回開催してきた。

今回の視察では、これまで学んできた知識を活用して、地域課題を解決するためのヒントを得るため、SDGsの達成を通じた持続可能なまちづくりに向けて先進的な取組を数多く展開し、国際的にも評価が高い十勝管内上士幌町の取組について学んできた。

【第１回　SDGsの概要】

【第２回 ウェルビーイング】

【第３回 ナッジ理論】

4　視察先の概要

（１）自動運転バス乗車　＠上士幌町交通ターミナル

①上士幌町交通ターミナルの機能

▶ https://www.kamishihoro.jp/sp/terminal

拓殖バスや十勝バスの時刻表、自動運転バスの運行状況をモニターに掲示しているほか、農村部の住民が利用するデマンド交通の予約タブレットが設置されており、交通の拠点となっている。
また、施設内はワーキングスペースにもなっており、PCを持ち込んで作業をすることが可能。

②「上士幌カーシェアサービス」

▶ https://kamishihorocar.com/

地域の事業者である(株)TKFが運営しているカーシェアサービス。
１時間900円１日6,600円でガソリン代は無料。
上士幌町内は気軽に利用できるレンタカー、カーシェア事業者がいないため、ワーケーションや保育園留学で来町した方も利用しているとのこと。

4　視察先の概要

（１）自動運転バス乗車　＠上士幌町交通ターミナル

③自動運転バス試乗

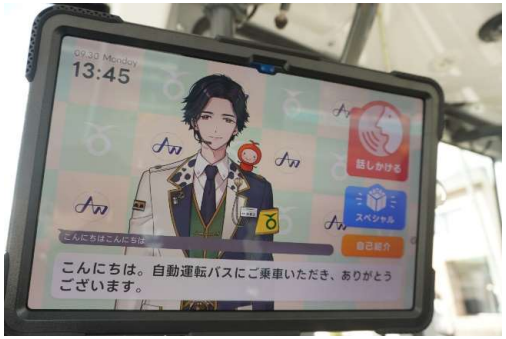
▶ https://www.kamishihoro.jp/sp/self_driving_bus

15km/h～19.8km/hで運行し、人間の介入は、「出発」「交差点での発進可否の判断」「追い越されたときのブレーキの有無」の３点。

11月からは人間が介入しないレベル４への実証実験が開始される。

車内には画面上にAI車掌が投影されており、話しかけると質問に回答してくれるシステムとなっている。

主な利用者は高齢者であり、入浴施設への行き来や買い物に利用する町民が多いとのこと。



4　視察先の概要

（２）取組概要の説明

＠生涯学習センターわっか

▶ https://www.kamishihoro.jp/sp/wakka

2017年にオープンしたわっかは、図書館や学童保育所、子ども発達支援センター、子育て相談センターのほか、町教育委員会、社会福祉協議会の機能を集約した生涯学習センターであり、幅広い世代の町民が集う場所として提供されている。

取組概要では、上士幌町はかつて、平成の大合併時になんとか独立を維持したが、消滅可能性都市として存続が危ぶまれていた状況や、ふるさと納税を黎明期から積極的に取り組み、事業の規模を広げていった経緯などが説明されていた。

後半はゼロカーボンマスターである生涯学習支援課の細川さんから子どもをはじめとした町民のやりたいことを実現させる「∞ゼミ」の取組について紹介があった。

4　視察先の概要

（３）ナイタイ高原牧場・ナイタイテラス視察

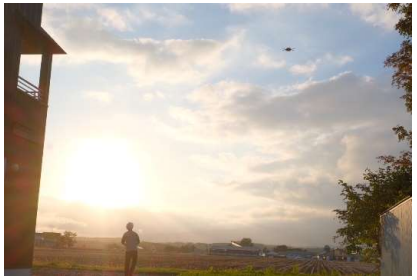
▶ https://karch.jp/naitai.php

観光地域商社「株式会社 karch（カーチ）」が町から指定管理を受け、管理運営を行っている。
施設からは日本一広い公共牧場のナイタイ高原牧場が一望でき、インバウンドからも人気を博しているほか、施設内で販売されているお土産は、カーチブランドの商品である。
上士幌町も日高管内同様に加工施設が乏しいが、町外の事業者に生産を委託し、販売している。

（４）かみしほろシェアOFFICE視察

▶ https://www.kamishihoro.work/

ワーケーション及び企業間交流の拠点であり、気軽に利用できるワークスペースとなっている。
テレワークや新聞記者など一時的に利用する方のほか、事業者登記も可能であるため、オフィスとして活用している方もいる。
また、ドローン配送の拠点としても利用されているため、農村部への新聞配達をする様子も見ることができた。



4　視察先の概要

（５）起業家支援センターhareta視察

▶ https://kamishihoro-town.com/tp_detail.php?id=125

haretaは第三セクターである(株)生涯活躍のまちかみしほろが運営しており、町からの委託を受け、あらゆるコミュニティづくりの場として利用されている。
取組としては、町内で起業したい方向けの勉強会の開催や町内に特化した無料職業紹介所等の運営がある。

（６）かみしほろマルシェ視察

▶ https://www.kamishihoro.shop/

ICTを活用した無人のスマートストアであり、自分のスマートフォン又は入口にある貸し出し用のスマートフォンを使用し、購入することができる。

店内にはカメラが設置されており、利用者がどのように店内を回っているか、どんな商品が売れているのか等をデータ化し、町内の商店に還元しているとのこと。
なお、運営会社は冒頭で説明した上士幌カーシェアサービスを営んでいる(株)TKFである。

4　視察先の概要

（７）バイオガスプラント視察　@（有）ドリームヒル

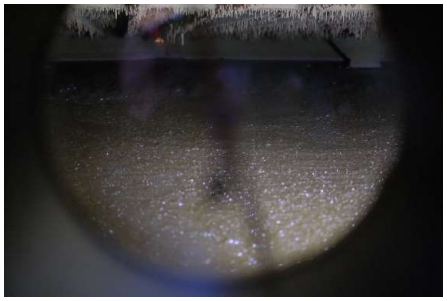
▶ https://www.dreamhill.co.jp/

(有)ドリームヒルは酪農事業、バイオマス発電事業、６次化事業に取り組んでいる事業者であり、施設内で飼養されている約2,100頭の雌牛から排出される糞尿を活用してバイオマス発電を行っている。

バイオマス発電で処理された糞尿は臭いが少なく、固形物は寝わらとなり、液体物は肥料として畑に散布される。

第一プラントで発電された電気は一度北電が買い取り、それを全量北ガスが買い取り、必要な分をカーチが買い取ることで町内でも消費されている。
第二プラントの施設整備には国の交付金が活用されているため、販売はせず、施設内で循環されている。

また、余剰ガスは施設内のビニールハウスの暖房に活用され、そこで栽培されたフルーツは、同社直営のジェラート屋やレストランで提供されている。



4　視察先の概要

（８）生活体験住宅視察

▶ https://www.ijyuu.com/

上士幌町への移住を検討している方向けに貸し出している住宅であり、短期（１週間～１か月）と中長期（１か月～１年）で利用することができる。

上士幌町の移住政策は、商工観光課とNPO法人上士幌コンシェルジュの官民連携で取り組まれており、休日も含め、移住者の相談対応をしているとのこと。

【実　　績】

| | | |
|---|---|---|
| 平成17年 | （当　　初） | ２名 |
| 令和５年 | （完全移住） | 113組、　231名 |
| | （2拠点居住） | 14組、　18名 |
| | （移住体験） | 618組、1,514名 |

※上記実績は、上士幌町又はNPO法人上士幌コンシェルジュを通じて移住した方のみを対象としている。

4　視察先の概要

（９）地域商社の取組説明　@道の駅かみしほろ

▶ https://karch.jp/michinoeki/

最後に昼食をとりながら地域商社「株式会社 karch」の取組について説明を受けた。
カーチの事業としては「観光施設の管理運営」「DMO」「電気の小売」の３つに大きく分類される。
売り上げは約５億3,000万円であり、近年はお土産の商品開発や地域ガイドの養成も行っている。

（10）その他

①上士幌町役場

▶ https://www.kamishihoro.jp/page/00000413

老朽化による建て替えが予定されているが、極力$CO_2$を排出しないよう増築と減築は最小限に抑えた設計として計画されているとのこと。

②にっぽうの家　上士幌

▶ https://kamishihoro.today/about/

ワーケーションなどに使い勝手が良い宿泊施設。
道の駅の横にあり、町内を活動するには好立地である。

「第４回若手職員を対象としたSDGs勉強会（先進地視察）」

# アンケート結果

# 参加した職員を対象に以下の項目についてアンケートを実施

対象者数＝15名、回答者数＝15名

①今回の視察は有意義な内容でしたか

②視察時間は十分でしたか

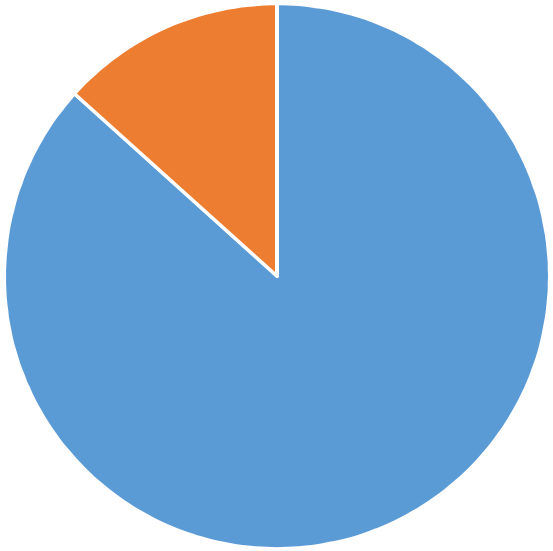
③視察で学んだ知識は業務に活かせると思いますか

④今後職員を対象とした勉強会が開催される場合、参加したいと思いますか

対象者数＝15名、回答者数＝15名

## ①今回の視察は有意義な内容でしたか

■大変有意義だった　（13名）
■有意義だった　（２名）
□普通だった
□有意義ではなかった
□全く有意義ではなかった

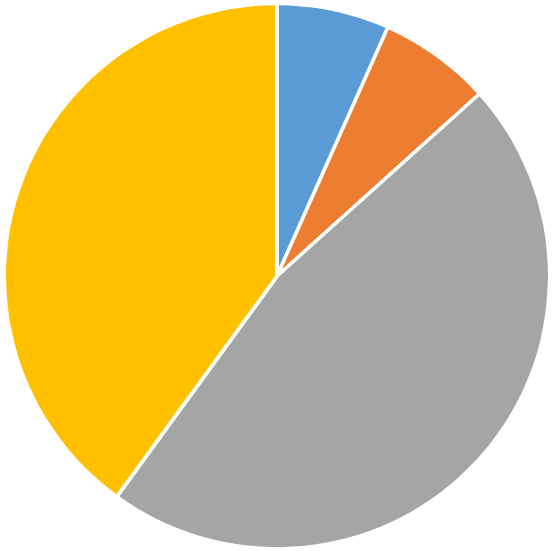


【結果】
全ての職員が視察内容を有意義と感じていた

対象者数＝15名、回答者数＝15名

## ②視察時間は十分でしたか

■長　い　（１名）
■どちらかというと長い（１名）
■ちょうど良い　（７名）
■どちらかというと短い（６名）
□短　い

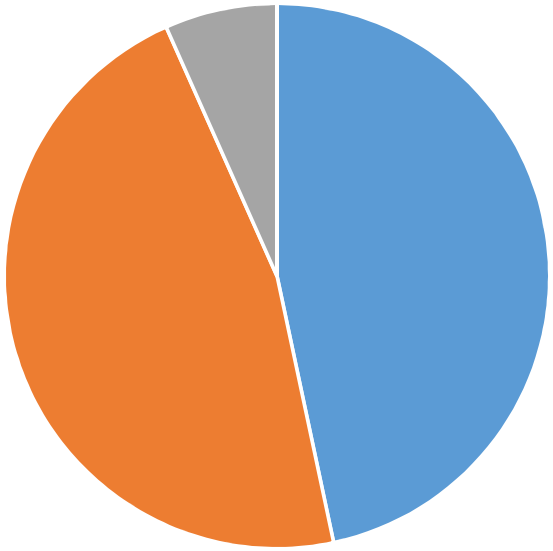


【結果】
短いと感じる職員が多く、各訪問施設での滞在時間が足りないとの意見があった

対象者数＝15名、回答者数＝15名

## ③視察で学んだ知識は業務に活かせると思いますか

■活かせると思う　（７名）
■どちらかというと活かせる　（７名）
■どちらともいえない　（１名）
□どちらかというと活かせない
□活かせないと思う

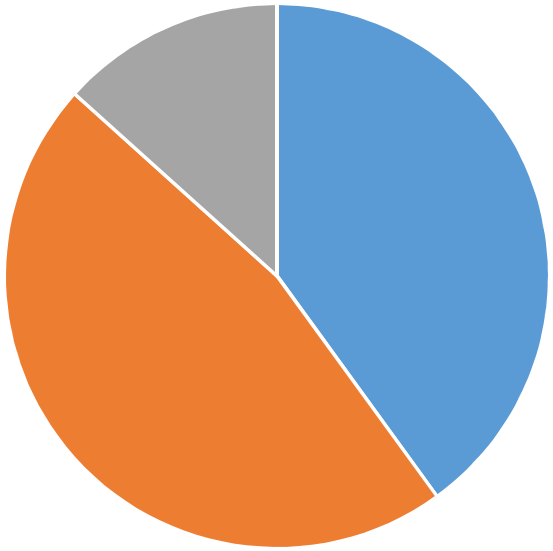


【結果】
　自由記載欄には、官民連携・住民参加型のまちづくり、職員の福利厚生、福祉サービスの充実、資源の利活用など視察内容を各所属の業務に結びつけて検討した記載が見受けられた

対象者数＝15名、回答者数＝15名

## ④今後職員を対象とした勉強会が開催される場合、参加したいと思いますか

■参加したい　（６名）
■どちらかというと参加したい（７名）
■どちらともいえない　（２名）
□どちらかというと参加したくない
□参加したくない



【結果】
参加したいと感じた職員が多かった